

研削盤、バフ盤を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の型	労働者規模
2017	1	9～10	住宅改修工事現場にて、アルミサッシの切断作業中に、誤って電動工具で左手甲を切断し負傷する。	50	30202	8	1～9
2017	1	11～12	新築工事にて塩化ビニール管を切断している時に、サンダーの刃に軍手が絡まり、左の手のひらを負傷した。	39	30202	7	—
2017	1	16～17	研磨作業を済ませ、機械の電源を落とし停止させたつもりで一旦機械離れ、再びその研磨機に戻りその機械の後ろ側へカバーを取り付けようと後ろ側へ手を回した時に、研磨機（停止していると思っていたが回転していた）に右手の甲が接触し、指に切傷を負った。	76	11203	8	30～49
2017	1	18～19	派遣先メッキ工場にてバリ取り作業をしているときに、電動ヤスリ（サンダー）を製品に強く当ててしまい勢いではじかれて、自分の頬に跳ね返り、回転しているヤスリ部分で鼻周辺を切ってしまった。	52	170101	8	10～29
2017	1	13～14	工場内で溶接部分をグラインダーでこすっている時、グラインダー回転部が金物にはじかれて左上腕部を裂傷した。	37	11209	8	10～29
2017	1	10～11	新築工事現場にて、1階玄関で、電動センサーを使用して木枠を切断加工していた際、不注意によりサンダーの刃が服（ズボン）を巻き込み、左膝下を約10センチ切創した。	60	30202	8	—
2017	1	11～	工場内において、作業台の上で、8cm角の鉄素材の側面をサンダーで削っている途中、素材を押さえていた左手の手袋が巻きつ	59	11209	7	30～

		12	いてしまい、親指と人差し指の間、及び手の甲を負傷してしまっ た。					49
2017	1	10～ 11	工場内において、作業者が研磨キで加工終了後、研磨キのスイッ チを切らずTELのため機械の前より離れた時、被災者が次の作業のた め研磨キに掛けてあった製品約100コを右側よりエアガンで清掃 している時、ト石が回転していないと思い奥の製品を取る時ト石 に左手示指中指先がふれ負傷した。	64	11302	8	1～9	
2017	1	16～ 17	被災者は、施工場所の集落排水処理施設の内部足場上において、 開口部側面のコンクリートをベビーサンダーによりVカットしてい たところ、コンクリート破断片が右目に当たり右眼球を負傷し た。また、作業中、保護メガネは未使用であった。	32	30199	4	10～ 29	
2017	1	9～ 10	被災者はグラインダーで加工、溶接してあった鉄板の出っ張りの 仕上作業していた。グラインダーのコードを踏んでしまい、グラ インダーが左足に落ち、左足甲を幅3cm、深さ1.5cm破傷したもの である。	23	11209	4	—	
2017	1	14～ 15	金属製品の加工作業中、誤ってサンダーで足首を切ってしまう た。	41	11204	8	1～9	
2017	1	14～ 15	屋根上でグラインダーで金属を切断するため、グラインダーの コードをコンセントに接続した。その時にグラインダーの電源が ONになっていたため作動し、その反動で右手第2指を負傷した。	29	30209	8	1～9	
2017	1	10～ 11	靴底とアッパーを接着させる為に靴底を軍手をはめて、グライン ダーで削っていた時に、回転している先端グリルに右手の中指が 巻き込まれた。	24	10805	7	30～ 49	
2017	1	20～ 21	本社2階の平面研磨機で、バフ研磨作業中にバフヘッドを移動させ ている時、バフヘッドの車輪と本体のレールの間に左手小指を挟 まれ、小指を切断した。	54	11204	7	10～ 29	
		14～	自社工場でカットした部材をサンダーで削っていた時、誤って手					

2017	1	15	がすべり、サンダーを落とし、右太股内側下部にサンダーの刃が当たり、負傷した。	72	30302	4	—
2017	1	8~9	当社作業場に於いて、ディスクグラインダーの点検中、電源の入っている状態だったため誤って刃に当たり、左手第2指を創傷した。	58	30199	8	1~9
2017	1	14~15	本社工場内において、テーブルショットで製品の仕上げ加工中、研磨剤の供給口開閉弁の鉄クズを取っていたところ、機械のタイマーが終了して停止したため、供給口開閉弁が閉じ、その弁に左手薬指が挟まれ負傷した。	30	11102	7	100~299
2017	1	14~15	県道改良工事現場に於いて、ディスクグラインダーを使って型枠を取り除くため、合板の切断作業を行っていたところ、回転中のグラインダーの刃が合板にくい込み、その反動でグラインダーが跳ねてきたため左手で払ったところ、回転しているグラインダーの刃で左手指に切断創等を負った。	32	30106	8	—
2017	1	10~11	建築現場でロフトのハシゴを切断中に、工具（グラインダー）の反発により、右下の大腿筋を負傷してしまった。	32	30202	8	1~9
2017	2	11~12	現場内資材置場にて鋼材（L=65×65×6、?=8.0）をディスクグラインダーで切断作業中、反対側から切断しようと鋼材の下をくぐろうとした際に、ディスクグラインダーの電源を切っていなかったため、刃が左手の親指、人差し指、中指、薬指、小指に接触し指を負傷した。（小指は軽傷、親指、人差し指、中指は骨に達しない切創、薬指は骨まで切断された切創である。）	69	30199	8	100~299
2017	2	14~15	工場内でサンダーにて研削作業をしていた時、研削箇所以外のところに接触し、サンダーが跳ね返り左脚膝の内側にサンダーの砥石が当たり切れた。	53	30302	8	1~9
2017	2	9~10	自動車整備作業における、ワイヤーブラシで研磨中に、ワイヤーの背が飛び、左眼に刺さった。ゴーグルを着用せず、作業したもので、対策が不十分であった。	54	11701	4	10~29

2017	2	11~12	研磨室でセンターレス研削盤から品物を取り出す作業をしている時、回転している研削砥石と品物が接触した。品物を取り出そうとしていた右手が一緒に持っていかれ、右手中指と薬指を巻き込み負傷した。	22	11301	7	50~ 99
2017	2	16~17	当社作業場において、個人宅外構工事現場に用いるブロックをサンダーにてカット中手にはめていた手袋がサンダーと絡んでしまいその際右手親指下の手のひらの部分をサンダーの刃で切り負傷した。	43	30199	8	—
2017	2	19~20	船内機関車において、一斗缶を2つに切断する作業中に切断用ディスクサンダーがはじかれて右太ももの膝に近い部分に当たり裂傷した。一斗缶を物理的に固定せず、足の上に挟んだ状態で行ったのが原因と思われる。	65	40102	8	—
2017	2	16~17	当社工場内で、金具のバフ研磨作業中、レース機のバフを交換する為、レース機のモーターのスイッチを切ったが、回転するベルトが止まるのを確認せずベルトを掴んでしまった為、回転するベルトとプーリーの間で左手薬指が挟まれ骨折した。	35	11209	7	1~9
2017	2	9~10	当社溶接作業場にてグラインダーを片付ける時に誤ってスイッチが入ってしまい、左手甲の親指付け根をグラインダーで傷つけてしまった。	34	30309	8	—
2017	2	14~15	工場内でエアグラインダーでパイプ切断品のバリ取り作業中、機械スイッチを切らずに所定の位置に置こうとしたところ誤ってエアグラインダーを落とし、右足を負傷したものである。	69	11209	4	1~9
2017	2	16~17	ペーパーサンダー作業中、立ち上がった際に接触し右膝を負傷した。	42	11503	8	30~ 49
2017	2	9~10	自社シャッター修繕工事中にサンダーで左手薬指を切創した。	63	30203	8	—
2017	2	9~10	溶接をするため材料に開先を取るためにサンダーをかけていた時に材料を持っていた方の手が誤ってサンダーに接触してしまっ	43	11209	8	10~ 29

			た。				
2017	2	23~24	電線地中埋設工事現場で管路掘削中に地中障害物（鉄管）が確認されたため、掘削溝の中で電気グラインダーを使用し切断することになった。（このグラインダーは安全カバーの外されたものであった。）管を切断中、刃がかみ、回転方向に走り、左足首を切った。安全靴は着用していたが、ロータイプのものであった。	24	30199	8	1~9
2017	2	10~11	溜桝設置個所で排水用塩ビパイプ布設時に溜桝の内ヅラに合わせて、塩ビパイプをベビーサンダーで切断している時に、パイプを固定せずに作業した為、振動でパイプが跳ね上がり、その反動で右手がブレて誤って左手の甲、親指付近にベビーサンダーが接触して怪我をした。	54	30109	8	1~9
2017	2	9~10	直径50cmのフランジの左側を左手で支えた状態で右手に持ったディスクグラインダーでフランジ下部の板付け部を削っていたところ、はずみでグラインダーが左側に跳ねた時に左手親指に当たり受傷（裂傷）した。	43	11209	8	1~9
2017	3	10~11	会社工場にて鉄製パイプの加工作業中、作業台（H700mm）上にパイプ（Φ34mm）を並べ置き、パイプ先端のバリを電気サンダーを片手に持って作業台上のパイプを片手で押さえ、回転したサンダー砥石をパイプ端面に当てた際、パイプがはねて手元が狂い、押さえていた手にサンダー砥石を当てて負傷した。	30	11209	8	10~29
2017	3	16~17	ベビーサンダーを使い階段の溝の高さを下げる作業をしていた際、刃が跳ね返ってしまい左手首を切った。	46	30201	8	1~9
2017	3	10~11	電動工具で鉄筋を30cmに切断中、鉄筋切断後の切削屑を研磨する時に誤って回転中の砥石に接触し、右手二ヶ所を負傷した。	79	30111	8	1~9
2017	3	16~17	自社作業場にて溶接作業中、サンダーがけをしていて鉄粉が目に入ってしまった（ゴーグル装着）。	48	11209	12	1~9
			当社工場内でステンレスの薄い板の切断作業中、左手でディスク				

2017	3	16~17	グラインダーを持ってステンレスの板を切断していたときに、グラインダーがはねて右手の人差し指に当たり、切傷を負った。	54	11209	8	1~9
2017	3	16~17	工場内において、鉄板の面取り作業中、右手にサンダーを持って左手で鉄板を押さえていた。鉄板の角部分でサンダーが滑り、誤って左手親指付根部分にサンダーの回転部分が当たり被災した（軍手着用）。	64	11501	8	1~9
2017	3	14~15	平面研磨機を操作中にテーブルの上が油で汚いためウエスで拭こうとしたため砥石に巻き込まれ、指の先端を砥石に削られ切断してしまいました。通常はワークを置くテーブルの掃除はダスター刷毛で掃除するため、ウエスは使わない。どうしてもウエスで掃除したい場合は必ず砥石を止めた状態で掃除するが、今回は本人が砥石を止めていたと思い込んでいたため、手をテーブルに入れてしまった模様である。	44	11209	8	10~ 29
2017	3	16~17	当社事業所内にて、取扱商品である工場用ゴムベルトをサンダー掛けの際、誤って左膝にサンダーが当たり切傷した。	45	80209	8	10~ 29
2017	3	8~9	自社の倉庫で、被災者自らが溶接した鉄筋の加工物の修正作業をしているときに、電動グラインダーを使用していたが手元が狂い、その電動グラインダーの回転に跳ねられ、その刃先が被災者の足に接触した。通常装備された刃先の保護カバーは外された状態だった。	69	30199	8	10~ 29
2017	3	11~12	当社作業場にて、資料の整備で型枠パネル（木製）に付着しているコンクリート塊をグラインダーで削り落としていた際、弾かれてパネルを押さえていた左手首にグラインダーの刃が当たり切創を負う。	25	30209	8	1~9
2017	3	10~11	外構の工事をしていて、既存のパイプをサンダーで切断している時に、コンクリートに当たってサンダーが跳ね返って左手の甲を負傷した。	69	30199	8	30~ 49
			自社工場内で、右手にディスクグラインダー、左手にアルミ加工				

2017	3	11~12	品（縦横30cm×20cm）を持ち、鋼材加工品の切断作業をしていたとき、鋸刃が弾き、刃が左手親指と人差し指に当たり切創した。ディスクグラインダーは鋸刃を装着していた。	31	11209	8	1~9
2017	4	13~14	浄化センター耐震補強工事中、脚立に上がって（高さ600）天井下地の計量鉄骨撤去作業をしている時、切断用のベビーサンダーが反動で跳ね返って頸に当たり、前頸部を負傷した。	38	30201	8	1~9
2017	4	9~10	当社工場に於いて、銅板（幅3cm・長さ20cm・厚さ3mm）に付いているネジを削り取るために、銅板をプライヤーではさんでサンダーで削っていた際、誤って右手親指がサンダーに触れてしまい、親指外側を負傷した。	70	150103	8	30~49
2017	4	10~11	古紙の回収日であったため、計量を行い事務所を出る際、傘立てに右足を引っかけてしまい、その反動で3メートルくらい飛び転倒した。	19	11301	8	1~9
2017	4	13~14	ユニットバス設置工事のため、既存窓枠の解体作業を行っていた。グラインダーがアルミ製の窓枠に挟まってしまったため外そうと力を入れたところ跳ね返り、左目の下から鼻、口にかけて斜めに裂傷、及び左手を切り親指に裂傷を負った。ヘルメットを被って作業していたため、目への直撃は避けられた。	37	30209	8	1~9
2017	4	18~19	カーエアコン部品の切削加工作業終了後、装置内の掃除をする為にエアガンノズルを交換した際に、清掃用ノズルをクーラントタンクへ落とした。クーラントタンクよりベルトコンベアでチップコンベアの点検口にノズルが流れていった。チップコンベアの点検口からノズルのホースが見えたので、拾おうと右手を入れチェーンに巻き込まれた。停止ボタンを押しチェーンを停止させ、右手を引き抜こうとしたがチェーンに巻き込まれていた。	56	11502	7	50~99
		9~	グラインダーで鋼管外面の研磨を行っていた際、一時休憩のためグラインダーを停止させ鋼管上部（曲面）に置いた直後、グラインダーが滑り落ちそうになった。落下を防ぐ為、咄嗟に受け止め				30~

2017	4	10	ようと左手で砥石部分、右手でハンドル（スイッチ部）を握ったところグラインダーが起動し砥石が回転し、左手中指第一関節に切創を負い腱が断裂した。	18	11209	4	49
2017	4	11～ 12	工場内において高さ50cmの定盤の上で長さ70cmの製品をサンダーで研削していたとき、体勢を崩し体勢を立て直そうと左手をサンダーから放してバランスをとろうとした。その際、サンダーが加工物に触れて左手の方向にサンダーが動き、サンダーが左手に当たった。	21	11209	8	10～ 29
2017	4	16～ 17	据付するためステンレスパイプの切断作業中、切断器具（ディスクグラインダー）がコンクリート床に接触して跳ね返り、回転中の研削砥石により右大腿を負傷した。	24	80409	8	10～ 29
2017	4	17～ 18	養殖池フェンス改修工事中にディスクグラインダーで鋼材（厚6mm×1cm×1cm）を切断中、グラインダーが手から滑って弾いてしまい左大腿部を挫創した。	36	11209	8	1～9
2017	4	9～ 10	ボイラーの取替工事現場で、古い配管（鉄管）をハンドグラインダーで切断していたところ、グラインダーの刃（直径10cm）がはねて左腕と左足太もも部分に当たり胴部を負傷した。	57	30302	8	1～9
2017	5	15～ 16	戸建住宅新築工事現場において、グラインダーを用いて瓦を切断・加工する作業中に、グラインダーの刃が左手に着用していた軍手に接触し、軍手ごと左手をグラインダーに巻き込んでしまい、左手親指の付け根が刃に当たった。	46	30202	7	1～9
2017	5	9～ 10	個人宅倉庫補修工事現場において、ベビーサンダーを右手に持ち鉄板（910cm×360cm）サイディングの加工中、ベビーサンダーが反発して、その反動で材料を押さえていた左手に当たり、裂傷を負った。	24	30209	8	10～ 29
2017	5	13～ 14	事業所内で品物の研磨作業中、ベルトグラインダーで指を切傷し、骨折した。	59	11002	8	1～9

2017	5	11~ 12	敷地内で、H型鋼にサンダー掛け作業をしていた時、横にあった部材が作業に支障をきたしたので、右手にサンダーを持ったまま（機械を停止しないまま）、左手で部材を下方向に移動させようとした際、サンダーの刃がH鋼に触れ、その反動でサンダーの刃が左大腿部に当たった。	61	11209	8	1~9
2017	5	16~ 17	鉄工所工場内にて、建物用の鉄骨部材の仕上げ作業中、手動サンダーを使用している時、サンダーの刃が鉄骨に食い込んでしまったため引き抜こうとし、引き抜いたはずみで自分の脛にサンダーが来て、自分の右脚（脛、甲）に刃が当たった。	76	11209	8	10~ 29
2017	5	8~9	工場エンジン鑄造部に所属する受傷者は、シリンダーヘッド仕上げ工程にて、夜勤作業終了後、残業で仕上設備の機内不要鉄板及び鉄骨パイプ除去を実施した。鉄板及び鉄骨の一部を電気サンダーにて切断除去後、機内に残存した右側上部鉄骨を除去する為、粗材クランプ治具上でそんきょ姿勢をとり、電気サンダーで切断を始めたとき、砥石が食いついた反動で電気サンダーが跳ね返り、砥石が右足大腿部に接触し受傷した（8針縫合）。	33	11502	8	1000 ~ 9999
2017	5	14~ 15	倉庫内でブロックをベビーサンダーにて作業中、サンダーの刃が外れ跳ね返って左足を切ってしまった。	63	170209	8	10~ 29
2017	5	13~ 14	卓上グラインダーを使用してポジションナーに取り付けるL字型ワーク（長さ6.3cm、幅3.5cm、ステンレス製）のバリ取り作業中、バリを取る部分を変えるのに、角度を変えた時にワークがグラインダーに吸い込まれ、ワークを掴んでいた右手人差し指、中指、薬指を骨折した。	31	11301	7	10~ 29
2017	5	17~ 18	工場内で耐熱鑄鋼品を研磨中に、ドレッサー台を研磨機の上に置いていたとき、砥石が目詰まりしてきたのでドレッサーをかけようとして左手でドレッサー台を取ろうと握ったところ、研磨機のシャフトとドレッサー台に挟まれて左手中指を負傷した。	25	11502	7	30~ 49
			当社工場において鋼材を研磨中に、右手に持ったディスクグライ				

2017	5	9～ 10	ンダーで、誤って鋼材を押さえていた左手の親指を砥石がはねて当たり、腱を切った。	57	10805	4	10～ 29
2017	6	13～ 14	社内加工場にて機械作業中、加工後に発生する切粉が工具にからまり、除去する際に左手人差し指に接触し、同箇所を4針縫う怪我をした。	21	11509	7	30～ 49
2017	6	17～ 18	グラインダーを右手で持ち、左手でスイッチを切ろうとしたが切れておらず、切れたつもりで置いたところ、右手甲にグラインダーの刃が当たってしまい切れてしまった。	39	11209	8	1～9
2017	6	11～ 12	ボイラー室にて地中の給湯管の漏水修理工事時、ディスクグラインダー（切断機）でパイプ切断中、バランスを崩して手を離してしまい、ディスクグラインダーがとび跳ねて、右手小指を切ってしまった。	60	30203	8	1～9
2017	6	9～ 10	会社の作業場にて片付け作業中、ディスクグラインダーにてスレートを切断中、機械が跳ね返り、左腕の服を巻き込んだと同時に左腕を創傷した。	61	30209	8	1～9
2017	6	14～ 15	本社仕上工場内で、仏具をバフイングマシンで研磨作業中、砂バフの交換時に、電源スイッチを切らずに回転させたまま取り外しを行った為、左手軍手がシャフトとボルトに絡まり、左手首が巻き込まれた。	22	11109	7	30～ 49
2017	6	16～ 17	工場内にて、セラミック部品を円筒研削盤にて研磨作業中、専用治具にてワークの脱着を行う際に、ボルトを締めた時に手が滑り、回転している砥石に手が強く当たり、指を深く切ってしまった。	33	10903	8	10～ 29
2017	6	13～ 14	当社工場内において、サンダーを使って品物を削る作業をしていたところ、サンダーが品物に強く当たった際、反動で跳ね上がり、右手に当たって切れた。	31	11209	8	10～ 29
			当社溶接作業場にて、一辺15cm程度の箱状の板金物の溶接跡をグ				

2017	6	19~ 20	ラインダー（ハンディタイプ）で研磨していた。左手に鋏金、右手にグラインダーを持ち、50個中残り2、3個まで作業を進めた時、次作業のことを考えるようになって注意が散漫になった瞬間、右手グラインダーを左手方向に押し込んでしまった。	28	11209	8	10~ 29
2017	6	14~ 15	作業場にて、機械加工（センターレス研磨）作業をしている時に、加工物を取り出す際に、左手小指から薬指が接触した。負傷後、仕事を中止した。	62	11209	7	30~ 49
2017	6	10~ 11	平常通り、工場内でグラインダー（30cm×13cm）で作業中、誤ってグラインダーが左足の内ももに接触して負傷したものである。	73	11305	7	10~ 29
2017	6	14~ 15	屋上の手摺り工事中、手摺りの鉄パイプを切断していたところ、切断グラインダーの刃が折れ、衝撃でグラインダーの刃が腕に当たり、左手の肘下8cm程下、18cm程縦に裂傷した。	58	30209	4	1~9
2017	6	15~ 16	組合内の空調機撤去工事現場において、配管材の切断作業中、電動工具（グラインダー）にて配管材の切断をしていたところ、グラインダーの刃に配管材が挟まり、回転が一時停止した。その後、それを取り除こうとした際、電源を切っていなかったため再度刃が動き出し、右手に当たり、人差し指を負傷した。	29	30203	8	1~9
2017	7	14~15	リサイクルセンター内で、産業廃棄物の分別作業中、硬質ポリエチレンを切断するため、ディスクグラインダーを使用していたところ、材料を抑えていた左手が滑り、グラインダーの回転刃が左手人差し指と中指の第一関節付近に接触し裂傷を負った。滑り難いゴム製手袋を装着していたが、一瞬の油断が事故を招いた。	24	150103	8	10~ 29
2017	7	15~16	外構工事自社元請現場内において、左手でフェンスを抑えながら右手でベビーサンダーを持ち作業中に、機械の反動で誤って上肢左前腕中央部を切ってしまった。機械：長さ26cm×幅11cm×高さ10cm重さ1.6kg	61	30199	8	1~9
2017	7	11~12	アパートの横の階段で裏側のサビ取りで、デスクサンダーを掛けていたら鉄サビが弾けて目に入った。保護メガネはしていた。	45	30201	4	10~ 29

2017	7	14~15	荷物積み込み作業中に、大型トラックから一斗缶32個（1パレット）の荷物を後ろ向きで引っ張ろうとしたときに、右足首を痛めてしまった。その場から一步も動けなくなり、すぐに救急車を呼んだ。	45	30106	8	1~9
2017	7	14~15	車庫にて資材を片付けようとして、立て掛けてあったコンパネのラッシングを外し、5枚程を倒れないように角度をつけて、1枚を後方へ移動させた時、残りの4枚が自分の方に倒れてきたため押さえきれずトラックボディの外に投げ出され、転落時に右肘を着いてしまい骨折した。	44	11209	8	10~ 29
2017	7	14~15	エクステリア工事において、駐車場の床に石を貼る作業中、ディスクグラインダーを両手で持ち石を切っている時、硬度の強いところで刃が跳ね返された際、右手に刃が当たり負傷した。	48	30202	8	1~9
2017	7	13~14	飛天馬上にて、電動サンダーで鉄管を切っている時に、鉄管にはじき返された電動サンダーが顔面を直撃した。手が当たったが顔面を切りつけてしまったと思い、咄嗟に電動サンダーから手を離してしまい左大腿部に落下し、高速で回転するディスク部分により裂挫創となったもの。	55	30203	4	30~ 49
2017	7	10~11	当社工場内で、直径8cm高さ5cm位の鉄製品を電動グラインダーでキズ取り作業中、製品を持っていた方の軍手が巻き込まれ、左手環指を負傷したものである。通院治療中日帰り手術をしたが、経過が思わしくなく再手術をした。再手術のため、連続休業となった。	52	11209	7	1~9
2017	7	0~1	トンネル剥落防止の金鋼固定用アンカーボルトを打ち込み後、余分な先端部分をベビーサンダーで切断作業中、右手首をサンダーの切断刃にて受傷した。	47	30199	8	1~9
2017	7	11~12	ダイカスト加工工場にてアルミ製品の切削加工中、工程が終了していると勘違いして製品交換のため、回転中の中に手を入れてし	19	11102	8	50~

			まい、右中指を切ってしまった。思い込みで作業をしてしまったことが原因。				99
2017	7	11~12	ダイカスト加工工場にてアルミ製品の切削加工中、工程が終了していると勘違いして製品交換のため、回転中の中に手を入れてしまい、右中指を切ってしまった。思い込みで作業をしてしまったことが原因。	19	170101	8	50~ 99
2017	7	13~14	当社工場内でアングル鋼（L5：40×40長さ800mm）の研磨作業の際に、左手で鋼材を押さえ右手でサンダー掛けをしていた時に滑って左手を巻き込み負傷したもの。	25	11209	8	10~ 29
2017	7	11~12	掃除用の棒で機械を掃除中、ブラインダーに手を巻き込まれ左手の小指を挟まれた。診断では捻挫と関節脱臼。手のひらがゴム材の手袋をしていたとのこと。	47	170101	7	50~ 99
2017	7	11~12	掃除用の棒で機械を掃除中、ブラインダーに手を巻き込まれ左手の小指を挟まれた。診断では捻挫と関節脱臼。	47	10805	7	50~ 99
2017	7	7~8	作業場に於いて、グラインダーにてアルミ製品のバリを取り除こうとして、右手でグラインダーを持ち、グラインダーのスイッチを入れた際、グラインダーが跳ね、左手首に当たり左手首を負傷した。	22	11102	19	10~ 29
2017	7	9~10	工場内において、冶具部品の取替を、冶具と冶具の間（約60cm）に作業員二人で背中合わせで作業をしていた。一人が、グラインダー作業を終え駆動を止めて振り返った際、グラインダーの刃が完全に停止しておらず、もう一人の背中に刃が当たり負傷した。作業ルールでは、背中合わせでの作業を禁止していた。次の作業へ急いで移動しようとし、グラインダーの駆動の停止確認を怠った。	18	11709	8	—
2017	7	9~10	工場内においてグラインダーを使用して溶接ビートのG作業中一旦休止して仕上がり具合を見ていたとき、惰性で回転していた刃に左手の手首が触れ切傷を負った。	53	11209	8	30~ 49

2017	7	0~1	当社の工場にて、材料の研磨作業中に右手で持った研磨機の内容料に対する角度が悪く研磨機の刃先が跳ねて材料を保持していた左手拇指根元を切傷した。	28	11209	8	30~ 49
2017	7	9~10	整備専用架台上でパーツのケレン作業中、（パーツ：直径20cm厚さ1cm、鉄製）グラインダーブラシ部分が右手薬指と小指に巻き付いて負傷した。	35	170209	7	10~ 29
2017	7	9~10	整備専用架台上で、パーツのケレン作業中、（パーツ：直径20cm厚さ1cm、鉄製）グラインダーブラシが右手、薬指、小指に巻き付いて負傷した。	35	170101	7	1~9
2017	7	14~15	サンダーで部品を削っていたらサンダーが割れて、そのはずみで手が滑り左手首を切った。	34	11301	8	10~ 29
2017	7	15~16	事業所内において、農機具を修理するためグラインダーで削っていたところ、跳ね返って、機械が左ひざに当たり負傷した。	28	80209	8	1~9
2017	7	9~10	主催によるレールボンド溶着作業技能講習会において、レール研磨中にレール研磨盤砥石が突然割れその破片が側にいた受講生の本人の右額部に当たり負傷した。頭部外傷右前額部割創と診断され、全治10日、処置後帰宅した。	33	30301	4	30~ 49
2017	7	10~11	側溝新設工事中、汚水マンホール高さ調整のため、ボルトを長さ20cmにベビーサンダーで切断中にはじかれて、左腕にあたり負傷した。	53	30309	8	1~9
2017	7	14~15	会社工場内において、トラックの荷台下にもぐってサンダーをかけていたところ、反動で跳ね返ってきた刃が右の頬の辺りに接触し、切れて負傷した。	26	11502	8	10~ 29
2017	7	10~11	改修工事現場で、鉄製のくずかごをサンダーで切断中に、誤って手を滑らせてサンダーの刃で左手の示指を傷つけた。	54	30209	8	1~9
2017	7	8~9	工場内の作業スペースで、プラスチックの20Lドラムを固定し切断加工中、ディスクグラインダーの刃が誤って左手に触れ負傷し	32	70101	8	1~9

			た。				
2017	7	14～ 15	工場内研磨室にてバフ研磨作業中、手に持って研磨していた対象物がバフに引っ掛かり、手から離れ、バフと一緒に回転し、対象物が飛んではね返って来た際に顔に当たり、裂傷を負った。その際の衝撃で作業イスから倒れ落ち、右肘に裂傷を負った。	41	11409	4	50～ 99
2017	7	11～ 12	当社工場内にて、両膝を地面に着けた状態で、角パイプ（縦横×長さ、75mm角×1800mm）を左手で押さえながら、右手でグラインダーを持って加工している時に手元が狂い、グラインダーの刃が滑ってしまい、左膝に当たり負傷したものである。	32	11209	8	10～ 29
2017	7	10～ 11	派遣先の屋外テント屋根内で、アルミタンクブロックの大組立作業中、サイドカッターで溶接補修箇所の研削を行い、研削状態を確認する際、サイドカッターの回転を止めることなく、両手で持っていたサイドカッターから左手を離した。そのとき、右手はボディ、左手はグリップを握っていた。研削作業を再開するため、グリップを握ろうと左手を移動させたとき、サイドカッターの刃と左手親指付け根部が接触し受傷した。	48	11501	8	300 ～ 499
2017	7	20～ 21	工場内設置のベルトサンダーにて研削作業中に、研磨ベルトとワークレストの間に左手を巻き込まれ、指を損傷した。その際、人差し指・中指・薬指の肉が剥がれ、小指を挫創した。	52	11209	7	1～9
2017	7	16～ 17	工場内にて、ペンキの一斗缶の空容器を解体しているときに、ペンキが残っており、ガスが溜まっていたため、グラインダーでカットしようとした際に出た火花に引火し、炎が出て、衣服に覆われていなかった左手首に火傷を負った。	47	11204	11	10～ 29
2017	7	16～ 17	工場内にて、ペンキの一斗缶の空容器を解体しているときに、ペンキが残っており、ガスが溜まっていたため、グラインダーでカットしようとした際に出た火花に引火し、炎が出て、衣服に覆われていなかった左手首に火傷を負った。	47	11204	11	10～ 29
			当社営業所にて鉄加工作業中、グラインダーで鉄を切断する際、				

2017	7	16～ 17	刃先が鉄に接触したときの勢いで刃物が潰れ、グラインダー本体に誤って左手小指下を強打し負傷した。	61	170209	3	1～9
2017	7	10～ 11	派遣先工場の屋外テント屋根内で、アルミタンクブロックの下組立作業中、サイドカッターで溶接補修箇所の研削を行い、研削状態を確認する際、サイドカッターの回転を止めることなく、両手で持っていたサイドカッターから左手を離した。（右手はボディ、左手はグリップを握っていた。）研削作業を再開するため、グリップを握ろうと左手を移動させたときに、サイドカッターの刃と左手親指付け根部が接触し受傷した。	48	11501	8	10～ 29
2017	7	9～ 10	当苑中庭で、丸鋸を付けたグラインダーを左手に、右手に木の枝を持ち、植木を切る作業中に、グラインダーの振動で刃が右手親指に当たり負傷した。	68	130201	8	100 ～ 299
2017	7	11～ 12	パズルパーキングの柱脚部のベースプレート固定用のアンカーボルトの余長部を、ベビーサンダーにて切断中、ベビーサンダーが弾き、作業服のズボンを巻き込み、左足ふくらはぎ外側を約10cm損傷した。	32	30201	8	10～ 29
2017	7	9～ 10	2階バルコニーで手摺の解体作業中、ステンレス製の支柱をサンダー工具でカットするときに、誤って左手首をサンダー工具で損傷した。	36	80109	8	1～9
2017	7	10～ 11	電動工具ベビーサンダーで平鉄を切断中、切断する刃が平鉄に噛んでその反動で顔面の右頬に当たり、頬を切った。なお、電動工具ベビーサンダーを使用する際は、両手でしっかり持ちながら平鉄を切断していた。	49	11209	8	10～ 29
2017	9	15～ 16	当社道具庫にて、ストレートグラインダー（ベビーサンダー）で攪拌機に付着したペンキの除去作業をしているときに、装着していた保護具（シールド付ヘルメット）の隙間から飛散したワイヤーが右目に刺さり受傷した。	25	11501	4	50～ 99

2017	9	18~ 19	第二工場研磨課ラインに於いて、センターレスの段取り作業中、砥石が止まっていると勘違いし、左手を出してしまい、左手第二指先端部を削ったものである。	53	11502	8	100 ~ 299
2017	9	9~ 10	流し台の上に置いたサンダーのコンセントを入れたところ、サンダーのスイッチがオンになっていたため回転し出し、左足の大腿部に落下した。	49	30209	8	1~9
2017	9	3~4	当社1階にて翌日の作業の為に段取り中、グラインダーを点検のために両腕で抱えた際、身体に電気が走るショックを感じ具合が悪くなった。	26	11209	13	10~ 29
2017	9	4~5	第二工場鑄造ライン（4VI）にて、被害者に両頭グラインダーを使用、自動車部品?チューブディファレンシャルの張取り加工を行う為?を両手で保持、まず砥石とその?との張取り位置姿合わせをワークレストから浮かした状態で行っていたが、この作業中、誤って?が砥石に接触した時砥石が回転中であった為その回転力で?は下方向に振じられながらワークレストに強く突きあたった際?を保持していた両手中、左母指末節部を間に挟み負傷したものである。	57	11502	3	10~ 29
2017	9	14~ 15	研磨機で作業中、砥石のドレッシングのために、ドレッサーのバーを研磨機の小窓から差し込んだ際、ドレッサー先端の刃が回転している上下の砥石に噛み込み、バーが研磨機の中に引きこまれた。その時にバーを握っていた左手が、バーのストッパーと小窓に挟まれて左手薬指と小指を切断した。同時に、バーのグリップ部で、右脇腹を強打し、肝臓を損傷した。	20	11209	7	300 ~ 499
2017	9	10~ 11	工場内において、治具（100mm立方体）調整のため溶接部分をグラインダーで剥がす作業をしていたところ、右手に持っていたグラインダーが勢い余って調整部分から外れ、その刃が治具を支えていた左前腕部内側に当たってしまい負傷したものである。	30	11209	8	10~ 29
			工場の二階工作室の前にある研磨機で、朝にH-92切断型上刃の表				

2017	9	8～9	を研磨して裏を研磨するため研磨台から外そうとした時に、手袋が研磨石に引っかかり右手中指の先を切った。研磨石の回転が止まる前に作業をしたためである。	65	11203	7	10～ 29
2017	9	12～ 13	第5生産課CRB1区工程外径センターレス（粗加工）機にて、設備段取後、ワークを流動させた、ワークが残り少なくなってきた為、最終ワークの最後に外径ダミーをセットした。砥石の手前まで左手でダミーを押していた時、考え事をしていた為、左手が砥石入口部分までダミーを押してしまい、ブレードと砥石に左手中指が巻き込まれ受傷した。	34	11301	7	1000 ～ 9999
2017	10	8～9	当日工場内に於いて、板材（長さ10cm、巾4cm）をグラインダーで研磨作業中、板材を支えていた右手を、板材とグラインダーの台の間に挟まれ、その際、右手第2指先端を負傷。	57	11301	7	10～ 29
2017	10	13～ 14	当社1階作業場において、金属材料試験片のセーバー（平削り機）による加工作業中に、試験片が挟まりセーバーを停止し試験片を取り除こうとしたところ、停止後まだ勢いで動いていたセーバーの刃に手が挟まり負傷した。	51	170209	7	10～ 29
2017	10	11～ 12	多目的集合新築工事のため、基礎工事をしていた。手持ちサンダーで鉄筋を切断したとき、手が滑りサンダーを落としてしまった。サンダーは回転したまま本人の左足親指のところに落ち、負傷した。	64	30202	4	10～ 29
2017	10	9～ 10	現場で出た廃材や残材を管理する置き場で、廃材を細かく切断する作業中に、誤って左手の指に電動工具が当たってしまい、骨折した。	26	30202	8	1～9
2017	10	16～ 17	作業所内において商店店舗手洗器及び屋根消雪工事に使用するパイプを、ディスクグラインダーを使い加工していた際に、左手で材料を押さえて切断していたところ、グラインダーが滑り、左手手袋が巻き込まれ、左手親指付け根に受傷。	70	30203	7	1～9
			本社工場2F、研削盤の加工作業場でワークの脱着作業をしている				100

2017	10	8～9	際、ワークのはめ込みが不十分だったため、電源を切らずに取り外そうとした際、右手甲が砥石に接触し切り傷を負った。	25	170101	8	～ 299
2017	10	8～9	本社工場2F、研削盤の加工作業場でワークの脱着作業をしている際、ワークのはめ込みが不十分だったため、電源を切らずに取り外そうとした際、右手甲が砥石に接触し切り傷を負った。	25	10909	8	—
2017	10	16～ 17	派遣先で、エアブロー作業場を交代しようとした際に後方を確認せずに後ずさりし、回転している研磨機に腰が当たり腰部を火傷した。背部挫滅創とのことだった。	29	170101	8	1～9
2017	10	16～ 17	磨き班乾式3号機前バフ機でエアブロー作業場を交代しようとした時に、後方を確認せず後ずさりしたため、回転しているバフ機に背部が当たり、背部を火傷した。	29	11709	8	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	外壁改修工事作業に於いて、足場上で中腰の姿勢で電動グラインダーを使用した作業中に体の体勢を変えようとした際に腰を捻って痛みが走り負傷した。	41	30309	19	1～9
2017	10	16～ 17	倉庫内において、片付けをしていた。工具のサンダーを使用していたところ、スイッチを入れて作動しなかったの確認をしたら電源が入っていなかった。慌てて電源に接続したら、サンダーのスイッチを入れたままになっていて、右手薬指を工具で切ってしまった。	56	30203	8	10～ 29
2017	10	8～9	側溝の上にボイドを横に倒して置き1本切断しやすい様に少し出して高さ85cmの所でディスクグラインダーにて切断する時に左手でボイドを押えて片手（右手）でディスクグラインダーで切断した時に歯が左手の方へはねて左手指を負傷した。ボイドを切断する時の高さは腰高で無理な姿勢ではなかったがディスクグラインダーに保護カバーを取り付けていなかったために怪我の度合いが悪くなった。	63	30199	8	1～9
			ブロック積みの施工において、斜面天端に使用するブロック片を				

2017	11	8～9	さらに小さく加工するためにディスクグラインダーで切断しようとした際、左手甲を切創した。被災者はブロックを切断しようとしたが、手がかじかんでグラインダーをしっかりと持てなかったため、一旦作業を中断するためにグラインダーの底にあるスイッチを切ろうとした。その際、グラインダーの刃により、左手甲を切創した。	50	30102	8	50～ 99
2017	11	11～ 12	当社第2工場内で、研磨機を使用し、棒状のステンレス製品（長さ600mm、重さ600g）の仕上げ作業をしている時、磨いていた製品を作業しやすいように持ちかえようとしたところ、左手に着けていた手袋が機械に絡まり、右手小指の第二関節から上を切断した。	30	11301	7	10～ 29
2017	11	16～ 17	倉庫内にてフォークリフト作業中、フォークリフトから降車する際、右足を捻り転倒し、右膝を脱臼し骨折した。	25	30203	8	10～ 29
2017	11	11～ 12	屋根工事での撤去屋根廃材を作業所において、ベビーサンダーを使用して切断していた時、左中指外側に触れて裂傷した。	79	30209	8	—
2017	11	14～ 15	土場片付け・整備作業で単管（縦向き2mを15cm切断）をグラインダーで切断中弾き単管を支えていた左手の平にグラインダーの刃が接触した。	36	30199	8	1～9
2017	11	11～ 12	2Fベランダの防水加工工事中、左足を前に右足の片膝をついた体勢でサンダーを使い床を研磨していた為、エアコンの架台にあたって跳ね返った刃が左足首と膝の間にあたり裂傷した。	34	30201	8	1～9
2017	11	17～ 18	工場の作業場でサンダーでバリ取りをしている時に、右手の人差し指を切創した。	47	11204	8	30～ 49
2017	11	16～ 17	当社工場内でグラインダーを用いてアルミパイプの研削作業中、左手でパイプを押さえて右手で操作していたところ、パイプからの反動で左手元が弛み、はじかれたグラインダー刃部分が左手親指と示指の間に接触し負傷した。	55	10899	8	1～9

2017	11	14~ 15	No.1大型研磨機にて、フロート煉瓦（903×662×305mm）の側面研磨を行っていた。スライドヘッド上の煉瓦の側面加工送り前進後、後退する際にスライドヘッドと煉瓦下の間にあったナイロンスリングロープ（1t用30mm×3m）の端が煉瓦側面より外に飛び出ていた為、引き抜こうと手を出したところ、ナイロンスリングロープが砥石回転体の中に巻き込まれ、手が持っていかれそうになった為、慌てて手を離したが、研磨機の砥石に手を叩かれ左手の中指を複雑骨折した。	31	10904	7	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	仕上げ職場で、プロペラボス側面から翼にかけて、手持ちグラインダーで研磨をしている時、中腰の状態では右手はグラインダーのセンターハンドル、左手は本体下側を持って、横がけで作業をしていた時、グラインダーが研磨面に出来た段差に引っ掛かり、その拍子に体のバランスを崩し、咄嗟に左手がグラインダーから外れ左手首にグラインダーのディスクが接触し裂傷した。	38	11109	8	10~ 29
2017	11	11~ 12	鑄仕上作業場で、#524フランジを研磨中、受け台の溶接していた部分に何らかの力が加わり、受台が外れて前に倒れた時、外れた受台が砥石とかんで割れた。その際、割れた砥石の破片が右手親指、人差し指、中指及び右側骨盤に当たり負傷した。	62	11502	4	30~ 49
2017	11	9~ 10	働いている時に電動サンダーで脚を切った。	28	11509	8	1~9
2017	11	14~ 15	道路配管工事中、地中で配管を接続させるためグラインダーで管を切断していた時、グラインダーの刃が管にはじかれて、左手の掌を切り、裂傷を負ったものである。	31	30110	8	1~9
2017	12	11~12	作業現場でグラインダーを使って製品を研削していたとき、背後にある製品が入った箱から左手で製品を取り出し、グラインダーの右側にある作業台に製品を載せた際、左手中指がグラインダーに接触し、左手中指を切創した。	60	170101	8	100 ~ 299
			工場では、当社従業員の派遣社員が研磨した自動車部品（大きさ15				

2017	12	9~10	cm程の円盤の真中に円筒状の突起がある) を当該機械から抜こうと力を入れたとき、横で稼働していた機械の研磨するタップ(約60cm離れている) に右手人差指と中指の間が当たり負傷した。	46	170101	8	300 ~ 499
2017	12	9~10	当社内で研磨加工中、機械が回っているところにうっかり手を出してしまい、怪我をした。	46	11502	8	10~ 29
2017	12	13~14	工場構内の過酸化水素エリアにおいて、グラインダーで既設配管の切断作業中に、自分の体側より奥に向かって切断を行っていたが、刃が届かず、体勢を変えて切断部が見える位置までしゃがみ切断を始めたところ、刃が食い込んで割れ、その際の衝撃でグラインダーを持っていた手が負け、顔面に直撃した。残水が出ている状態で切断していたため、切断部が見えにくく、切断刃が直径13cmで両サイド近くにサポートがあり固定されていたが、配管径は40Aと小さく、直線部も2m程度でサニタリーの薄い配管であったためすぐに切れると思った。また、保護メガネをしていたので、切粉が目に入らないと思い油断し、顔を近づけすぎた。	29	30309	3	1~9
2017	12	17~18	鉄工所において、鉄パイプの内側をサンダー掛けする際、持ち手を変えるときに内側の壁に当たり、はね返ったときに右手親指を負傷した。	64	30201	8	1~9
2017	12	15~16	倉庫内で、サンダーを使用し、金属を削る作業を行っていた。その際、サンダーに取り付けられていたステンレスのカップブラシの破片が、眼球に刺さってしまった。	71	80209	4	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html